

第4次印西市 男女共同参画プラン

概 要 版

令和6年3月

印西市

男女共同参画社会とは？

性別にかかわらず、お互いを尊重し合い、誰もが職場、学校、家庭、地域などあらゆる分野で活躍できるようにする社会のことです。

性別にかかわらずみんな平等であるべきなのに
「女性だから」「男性だから」という思い込みにとらわれて
モヤモヤしていることはありませんか？

家事・育児は
女性がすべき？

職場でも地域でも、
男性がリーダーに
なるべき？

女性は理系の進路に
向いていない？



男性は家庭よりも
仕事を優先すべき？

『無意識の思い込み』にとらわれていませんか？

上に書かれているような、男性、女性という性別を理由として役割を固定的に分ける考え方のことを、「固定的性別役割分担意識」と言います。

このような性別に関するものだけではなく、自分自身は気付いていないものの見方やとらえ方の歪みや偏りを「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」と言います。

誰もが何らかのアンコンシャス・バイアスを持っていて、そのこと自体に問題はありません。しかし「男性だから〇〇すべき」「女性は〇〇だ」というような無意識の関連づけにより、進学・就職やキャリア形成への男女格差、家事・育児分担の不平等、男性の長時間労働の常態化など、マイナスに作用することにつながります。

「男性だから」「女性だから」という意識にとらわれずに、「私らしさ」を尊重し、誰もが幸せで生きやすい社会を目指すことが、男女共同参画社会の実現につながります。

『無意識の思い込み』チェックシート

以下の項目に、あなたが「YES」と思うものはいくつありますか？

- 仕事より育児を優先する男性は仕事へのやる気が低い
 - 男性なら残業や休日出勤をするのは当たり前だ
 - 女性は正規雇用にこだわらなくともよい
- 女性社員の昇格や管理職への登用のための特別な教育・訓練は必要ない
 - 大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい
 - 事務作業などの簡単な仕事は女性がすべきだ
 - 育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない
- 女性の上司には抵抗がある
 - 組織のリーダーは男性の方が向いている
 - 同程度の実力なら、まず男性から昇進させたり管理職に登用するものだ
- 男性は仕事をして家計を支えるべきだ
 - 共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ
 - 男性は結婚して家庭をもって一人前だ
 - 女性には高い学歴やキャリアは必要ない
 - 女性に理系の進路（学校・職業）は向いていない
- 親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ
 - 実の親、義理の親に関わらず、親の介護は女性がすべきだ
 - 家事・育児は女性がすべきだ
 - PTAには、女性が参加するべきだ
 - 自治会や町内会の重要な役職は男性が担うべきだ
- 男性は人前で泣くべきではない
 - 女性には女性らしい感性があるものだ
 - 女性は感情的になりやすい



上記はすべて、性別による無意識の思い込みに該当するものです。無意識の思い込みは、誰しものが必ず持っているもので、思い込みがあること自体に良い・悪いはありません。

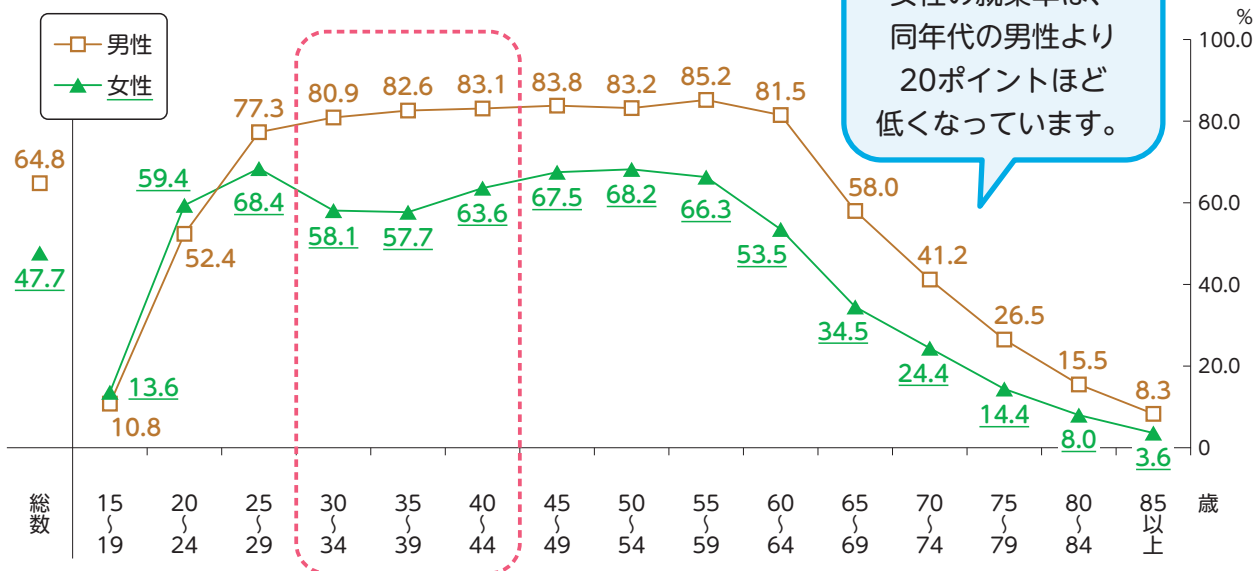
まずはどういったことが思い込みにつながるかに気づき、それにとらわれたり、それを相手に押し付けたりしないことが大切です。

※上記の項目は、内閣府男女共同参画局の「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）チェックシート」をもとに作成しました。詳しくはこちらをご覧ください。



これまでの印西市の男女共同参画の状況はどうなっているのでしょうか？

5歳階級別15歳以上就業率 (令和2年国勢調査より・印西市)



国勢調査によると、印西市の30～44歳の女性の就業率は、同年代の男性より20ポイントほど低くなっています。

各場面において男女平等が実現していると感じる人の割合 (市民意識調査より・印西市)

場面	平成29年度	令和4年度	結果
(1) 社会全体	15.8%	13.9%	減少
(2) 職場	25.8%	30.5%	増加
(3) 家庭生活	36.8%	31.6%	減少

市民意識調査によると、各場面で男女平等と感じる人が職場については増加している一方、社会全体・家庭生活については減少しています。

従業員が育児休業や介護休業を取得するにあたっての課題 (事業所調査より・印西市)

事業所調査によると、育児休業・介護休業について、取得に対する認識は改善されているものの、環境や仕組みの改善には至っていないことがうかがえます。

課題	平成29年度	令和4年度
前例(モデル)がない	29.8%	23.9%
社会全体の認識の不足	20.2%	11.4%
上司の理解不足	11.5%	8.2%
代替要員の確保が困難	39.4%	39.1%
休業中の賃金補償	27.9%	31.0%

減少

取得に対する認識は改善

依然高い

環境や仕組みが課題



こんな社会を目指しています

職場では…



結婚・出産などライフステージに応じた多様な働き方が選択でき、ワーク・ライフ・バランスの実現にもつながります。

学校では…



性別にとらわれることなく一人ひとりの個性を大切にした教育を行うことにより、多様な進路選択が可能になります。

家庭では…



家事や子育て、介護など家族全員でコミュニケーションをとりながら協力し合うことで家族の絆も深まります。

地域では…



男女が平等に地域のコミュニティづくりや防災活動に参画することで誰もが住みよいまちの形成につながります。

性別による思い込みをなくして互いの個性や意思を尊重し合うことで、みんなが自分らしくいきいきと生活できる社会の実現を目指して

第4次印西市男女共同参画プラン を決めました。



■ 計画策定の必要性

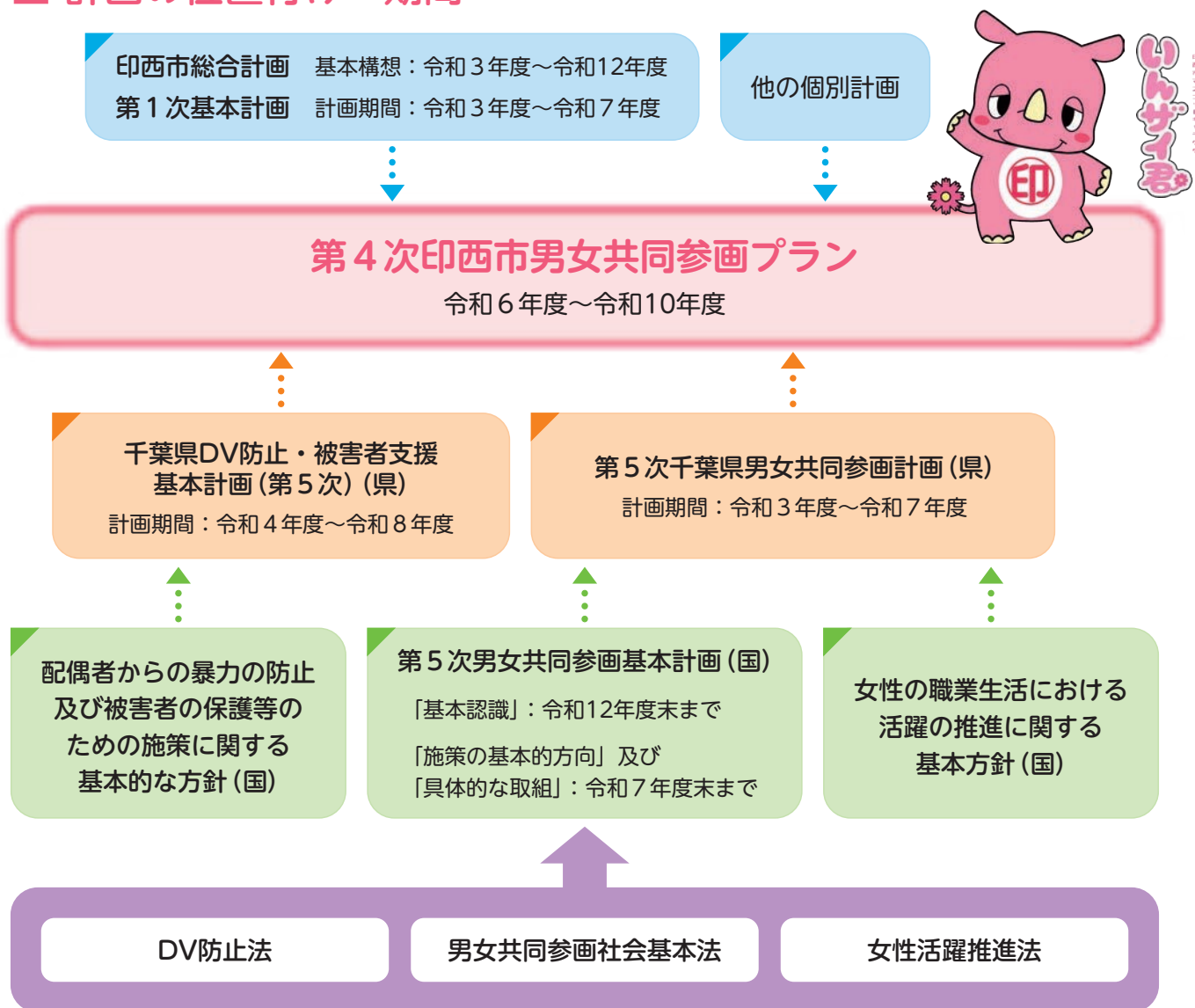
印西市では、令和元年に「第3次印西市男女共同参画プラン」(以下「第3次プラン」という。)を策定し、目標に掲げる「誰もがいきいきと輝ける社会の実現」に向けて取り組んできました。

その結果、令和4年度に実施した市民意識調査においては、男女共同参画に関する用語の認知度は上昇し、男女共同参画に関する市民の意識に高まりがみられました。一方、社会全体において男女が平等であると感じている割合は減少しているため、男女共同参画社会の実現に向け、市民・事業所・団体等に向けた取組を継続することが必要です。

また、印西市の人口は増加傾向にあり、0～14歳の人口も増加していることから、若い時期からの男女共同参画意識の醸成を通して男女共同参画社会の実現を目指すため、子ども世代に対する取組に力を入れていくことが重要と考えます。

このような状況を踏まえ、男女共同参画推進にかかる基本的な考え方については継承したうえで、近年の社会変化等を取り入れた、「第4次印西市男女共同参画プラン」(以下「本プラン」という。)を策定するものです。

■ 計画の位置付け・期間



■ プランの目標

本プランでは、一人ひとりが、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、誰もがいきいきと輝ける社会の実現を目指します。また、本プランの推進を通して、一人ひとりが社会の一員として、その役割を果たし、男女共同参画社会の実現に寄与することを目指します。

目標

誰もがいきいきと輝ける社会の実現

■ 計画の体系

本プランは、印西市男女共同参画を推進していくために、3つの重点目標を掲げ、目標を具現化するための7つの重点施策と19の具体的な施策で構成されています。

本プランの基本理念と目標、また、重点目標や重点施策については第3次プランを引き継ぎ、具体的な施策に基づく事業は、男女共同参画社会の推進に関連の高いものを中心として整理しました。

重点目標	重点施策	具体的な施策
重点目標Ⅰ 人権の尊重と男女共同参画意識づくりを進めるまちづくり	重点施策(1) あらゆる分野における男女共同参画意識づくり	1 男女共同参画に関する情報提供の実施 2 男女共同参画意識の啓発 3 男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進
	重点施策(2) あらゆる暴力の根絶	1 DV等を許さない社会に向けた啓発 2 安全・安心が確保された相談支援 3 被害者支援のための連携体制の整備
重点目標Ⅱ 多様な生き方が実現でき、男女がともに活躍できるまちづくり	重点施策(1) 多様な働き方を選択できる環境づくり	1 男女がいきいきと働くための周知・啓発 2 希望する働き方の実現に向けた支援
	重点施策(2) 地域社会で支える育児・介護の環境づくり	1 出産・育児に取り組む保護者のための支援 2 働く保護者のための育児支援 3 地域で暮らすための介護支援
	重点施策(3) 政策・方針決定過程への女性参画の促進	1 審議会等における女性参画の推進 2 管理職等への女性の登用促進
重点目標Ⅲ 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり	重点施策(1) 生涯にわたる健康づくり	1 妊娠・出産等に関する健康支援 2 「いのち」と「性」に関する教育の充実 3 性差や年齢差に応じた健康支援
	重点施策(2) 誰もが住みやすい地域づくり	1 障がいのある人・ひとり親家庭・性的少数者等への支援 2 多文化共生の推進 3 災害対策や町内会等の活動における男女共同参画の推進

■ 計画の目標指標一覧

本プランを進めることで目指す目標は、以下の通りです。

重点目標Ⅰ 人権の尊重と男女共同参画意識づくりを進めるまちづくり

	指標項目	現状値【令和4年度】	目標【令和10年度】
1	男女平等と感じる人の割合（市民意識調査）		
	（1）社会全体	13.9%	▶ 増加
	（2）職場	30.5%	▶ 増加
	（3）家庭生活	31.6%	▶ 増加
2	教職員の男女共同参画の意識を醸成するための研修機会の提供	新規	▶ 小学校全校 中学校全校

重点目標Ⅱ 多様な生き方が実現でき、男女がともに活躍できるまちづくり

	指標項目	現状値【令和4年度】	目標【令和10年度】
3	家族経営協定の締結数	42	▶ 増加
4	保育園待機児童数	13人	▶ 解消
5	学童保育（学童クラブ）待機児童数	31人	▶ 解消
6	審議会等の女性委員比率	30.5%	▶ 30%以上を維持
7	本市の職員に関する比率		
	（1）男性の育児休業取得率	56.0%	▶ 85%
	（2）女性管理職比率	12.1%	▶ 22%

重点目標Ⅲ 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり

	指標項目	現状値【令和4年度】	目標【令和10年度】
8	市の子宮頸がん検診受診率	14.3%	▶ 増加
9	市の乳がん検診受診率	19.4%	▶ 増加
10	女性消防団員数	9人	▶ 増加（定員25人）
11	町内会等の会長・副会長に占める女性の割合	5.1%	▶ 10%

※指標項目は、国の「第5次男女共同参画基本計画」、県の「第5次千葉県男女共同参画計画」に準拠。

※指標項目3～11は、担当課調べ。

性別にかかわらず、自分らしい生き方を実現し、いきいきと暮らせるまち 印西

第4次印西市男女共同参画プラン

編集・発行：印西市市民部市民活動推進課男女共同参画係
〒270-1396 千葉県印西市大森2364-2
電話／0476-33-4431 FAX／0476-42-7242
e-mail／siminkatudou@city.inzai.chiba.jp